



オオハンゴンソウ

(*Rudbeckia laciniata*)

～特定外来生物～

原産地と分布

北アメリカ原産

定着実績

明治中期に観賞用に導入。確認されたのは1955年。野生化し、現在では全国に分布。北海道、福島県、長野県、岐阜県で大群落が見られる。

被害をもたらす要因

中部地方以北の寒冷な土地に分布。路傍、荒地、畑地、湿原、河川敷等の肥沃で湿ったところや湧水のあるところに生育。ブナ帯の湿原に定着することが多い。

開花期は、7～10月。頭状花。虫媒花。瘦果をつける。横に走る地下茎から茎を叢生。

特 徴

キク科の多年生草本で、高さは0.5～3 m程度。ハナガサギク。

1月

1日－元日 13日－成人の日

2014年
平成26年

水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

【URL】 http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html